

## 2 安全にお使いいただくために

### 警告

- ❶ 植込み型医療機器(心臓ペースメーカー等)のご装着者が使用になる場合は、室外側ハンドルの読み取り部から植込み型医療機器の装着部位を12cm以上離してご使用ください。  
ワイヤレスICカードシステムでは、植込み型医療機器に対して影響を与える可能性があります。
- ❷ 植込み型医療機器以外の医療用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医療用電気機器メーカーなどにご確認ください。電波により医療用電気機器の動作に影響を与える可能性があります。

### お願い

- ・ ドアの開閉時には、丁番側のすき間に絶対に手を置かないでください。指をはさんで大けがをするおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。
- ・ ドアの開閉にあたっては必ずドアハンドルを持って操作してください。ドアハンドルから手を放したり、ドアの先端に手を置くと、突風などでドアが急に閉まったとき、ドアと枠の間で指をはさみ思わぬけがをするおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。
- ・ ドア開閉時に、扉の下端部に足が当たらないようにしてください。足をはさんでけがをするおそれがあります。特にお子様やサンダル履きで開閉する際はご注意ください。
- ・ 風が強いときはドアを閉めて、必ず錠をかけてください。風によりドアが急に開閉することがあり、ドアの破損やけがにつながるおそれがあります。
- ・ カードキー／シールキー、その他の操作盤等から操作して作動し、サムターンが回転している間、および電子音になっている間は、ハンドルやサムターンを操作しないでください。作動完了前(電子音が鳴り終わる前)にハンドルやサムターンを操作すると故障するおそれがあります。
- ・ カードキー／シールキーは、電子部品のため、落下させたり、ズボンの後ろポケットに入れたまましゃがむ、座るなどして衝撃を加えると故障するおそれがあります。
- ・ カードキー／シールキーは電子部品のため、水洗いしたり、濡れた手で操作したりすると故障するおそれがあります。ドア本体の電装部にも水をかけないようにご注意ください。また、温泉地など特殊ガス発生地域や、多湿な場所では使用しないでください。

(P.2 お願いのつづき)

- ・ 精密な電子部品等を使っていますので、分解や改造をしないでください。
- ・ 落雷による故障に備えて、避雷器などの設置をおすすめします。
- ・ シールキーは乳幼児の手の届くところに置かないでください。乳幼児が誤って飲み込むおそれがあります。万一、飲み込んでしまった場合は、医師にご相談ください。
- ・ カードキー／シールキーに下記のことを行わないでください。故障の原因となったり、使用できなくなる場合があります。
  - ・ 折り曲げる(財布等に保管し、ズボンの後ろポケットへ入れて椅子に座る等)
  - ・ ぶつけたり、つついたりする
  - ・ 汚す
  - ・ 水に濡らす
  - ・ 直射日光を長期間当てる(車中へ放置など)
  - ・ 磁気に近づける
  - ・ 穴をあける
- ・ シールキーに他のものがぶつかったり、押し付けられるような場所への貼り付けはお避けください。シールキーが破損する事があります。

## 一読

- ・ 本機は精密機器です。停電や本機の誤作動、故障など万一の状況にそなえて、必ず非常用力ギを携帯してください。
- ・ 下記に示すような家電製品や公共施設が出す電波の影響により、カードキー／シールキーの作動範囲がせまくなる場合があります。
  - ・ テレビ、パソコン、電子レンジ、携帯電話、コードレス電話機
  - ・ アマチュア無線局、テレビ塔、空港、テレビの送信所、工場、発電所
- ・ 家電製品や公共施設が出す電波の影響で、カードキー／シールキーの作動範囲がせまくなった場合、下記の通り対処してください。改善する場合があります。
  - ・ 影響のある家電製品の設置場所を変更し、玄関ドアとの距離をあける
  - ・ 影響のある家電製品の使用を停止する
- ・ カードキー／シールキーに下記のことを行ない使用すると認証できない場合があります。
  - ・ 他のICカード・磁気カードと重ねる
  - ・ 硬貨など金属のものと重ねる
  - ・ アルミ箔や金箔などの金属を含んだものと重ねる
  - ・ 金属製シールを貼付する
  - ・ 表面が非金属であっても直下に金属、電子基板があるものと重ねる
- ・ 電装部品に不具合が生じた場合は、最寄りのY・E・Sサービスセンター(P.28 参照)にご連絡ください。